

# アド連だより

## 第27号

令和3年12月25日発行

発行：全日本青少年育成アドバイザー連合会

編集：広報委員会



## [見守られている] との安心感を発信しましょう



今年もコロナ感染予防対策で右往左往の一年でした。昨年同様、青少年育成支援活動計画も立てられず、活動は自ずと少なくなりました。一方で、青少年達は1年1年と成長して行きます。私たち青少年育成アドバイザーには、青少年の成長を見守る役割があります。「今までの10年間は、これからの1年に匹敵する速さで世の中は変化するだろう」と報道があります。青少年が成長する大事な時期に、仲間と遊び触れ合い、未知への挑戦をする体験が新型コロナウイルス感染防止で制約され、実現できないのは非常に残念であります。また、日本の将来を担う青少年の負担を思うと心が沈みます。

私は、先日コロナ感染を気にしながら新幹線に乗りました。「なるべく会話は控えめに、イスは向き合わないよう回転はしないで下さい、マスクの着用をお願いします」と、乗客に対する車内アナウンスと「空気は3分間で入れ替わり、多数の方が利用しているところは消毒をお行っています」と対策のアナウンスに、私は【見守られている】との安心感を抱きました。このような細かい発信が相手に安心感をもたらすことを改めて実感しました。

私たち青少年育成アドバイザーに置き換えるとどうでしょうか？ 我々は、青少年健全育成のための数多くの研修を受けておりますが、その内容をかみ砕いて発信しているでしょうか？

新幹線のアナウンスで安心感を頂き目的地へ着いたように、急変する時代の空間の中で青年期を生きる次世代を担う青少年が輝く人生の目的に安心して到達する「手助け人」となれるよう、まずは、青少年に、自分は【見守られている】と感じられる「発信」が必要です。

せめて同県の会員同士、更に県をまたいで横のつながりを取って情報を収集し活動の輪を広げましょう。ここで、「実態調査2021」が参考資料となり他県の活動も知る事が出来ます。頼れる青少年育成アドバイザーとなるべく積極的に活用して頂きたくお願い致します。

なお「実態調査2021」及び「調査報告書2021」クロス集計は、ホームページ「全日本青少年育成アドバイザー連合会」に掲載されておりますので是非参考にして下さい。



全日本青少年育成アドバイザー連合会  
会長 峠 テル子



## 令和3年度第3回理事会 専門委員会の開催

令和3年11月20日～21日  
国立オリンピック記念青少年総合センターにて

○ 都道府県アド会新会長就任に伴う後任人事

### 新理事会役員・理事及び専門委員会委員紹介

役職	氏名	都道府県	ブロック
副会長	伊東 幹雄	千葉県	関東甲信越
監事	田山 喜子	茨城県	関東甲信越
理事	羽石 貴裕	埼玉県	関東甲信越
理事	川崎 寛典	高知県	中国四国
広報委員長	香川 勝	香川県	中国四国
広報副委員長	小林 勇治	栃木県	関東甲信越
法人化・組織対策 及び広報委員	羽石 貴裕	埼玉県	中国四国
認定・後継者育成 委員会事務担当	山崎 政和	埼玉県	アド連元副会長

○ 全日本青少年育成アドバイザー連合会 運営細則の改正案が承認されました。

(休会)

第4条 各都道府県アド連が休会したときには、会長に届け出、理事会の承認を以て休会を認め、休会年度より会費の納入を免除する。  
**但し、休会年数は3年以内とする。**

(専門委員)第16条第2項関係

第10条 専門委員は、知識を有する都道府県アド会会員のなかから都道府県アド会長が、役員会に推薦する。

2 専門委員会に、次の委員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 委員 若干名
- (4) 事務担当 1名



3 委員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 委員長は、委員会を掌理し付託事項を理事会に報告する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 委員は、委員会を構成し付託事項を処理する。
- (4) 事務担当は、事務局長と連携して委員会の書記を行う

附則

この運営細則一部改正は、令和3年11月20日から施行する。

(一部改正と追加)

### 後継者養成委員会

- ※ **令和4年2月25日～27日のアドバイザー養成講習会**  
コロナ感染防止と、開催体制が整わず中止するとを決定  
これで2年連続中止となりました。
- ※ **令和3年度のアド養成入門通信講座の実施**  
令和3年12月1日から令和4年1月31日まで募集

### 法人化・組織対策委員会

- ※ **コロナ禍の影響で対面委員会開催が困難と予想されることからzoom会議を毎月第4日曜日開催(18時～)**
- ※ **zoom会議を希望される方は、事務局までご連絡下さい。開催の準備をさせていただきます。**



## 「調査報告書2021」クロス集計活用の方法について

群馬大学名誉教授  
全日本青少年育成アドバイザー連合会  
顧問 萩原元昭

具体的に説明するために各都道府県別に最も回答者が多かった（56名）愛知県アド会の事例を取り上げました。

1. 累計表の読み方としては縦がアド会別、横が回答された問の項目（上が実数、下が％）となっていますので、％の多い順に並べ、質問文（問）の回答の動向を探っていきます。  
例えば問15についてみれば、「今後やってみたい地域の青少年育成支援活動」の回答で、最も多かったのは、「青少年が困ったときの相談相手」44.6％、「国・都道府県・市町村実施の育成の行事、ボランティア活動の青少年の意向を取り入れた新たな会」41.5％「青少年が集まって仲間同士が楽しめるような地域の居場所づくりの支援活動」37.5％など多い順にまとめます。
2. 次に各アド会にとって、今後の事業を計画作成、実践に結びつく注目すべき育成動向をまとめ、事業展開に役立てます。  
例えば、「青少年が仲間と主体的に参画したい活動のファシテーター（手助け人）の役割」37.5％や「地域や地球の青少年がESDやSDGs実現に積極的に参画できる機会の拡大に関する支援活動」28.6％などの地域、地球の一市民としての貢献できる支援活動などの要望に対して、今後の愛知県の研修事業の新規の創設に役立てる。
3. 各アド会でも「調査報告書2021」クロス集計と「1」「2」などに留意され、地域にあった育成事業計画の開発に役立てることを期待致します。



子どもが伸びるチャンスを活かそう

## 愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会の研修



講師の濱島氏（前列右から3番目）と参加者で記念写真

11月21日  
（日）本会主催  
で「青少年育成  
アドバイザー研  
修会」を一般財  
団法人愛知県青  
少年会館で行いま  
した。コロナ禍  
で2年ぶりの研  
修会となりました。

### テーマ①\*はじめてのウェブ会議

講師 石川 裕高 氏（株式会社キャッチネットワーク社員）

「みなさん、こんにちは」と柔らかい笑顔で挨拶と自己紹介の後…  
パソコンやスマホなどのデバイスからインターネットに接続して対面型でコミュニ  
ケーションができるツールです。???えっ!? 「デバイス?」 「ツール?」  
「何が?」 「どれが?」 ?マークが頭の上を飛び交いながら研修が始まりました。

今回、

- ① 参集することなくできる会員間のコミュニ  
ケーションのツールの一つの「ズーム」の仕  
組みと具体的手法を学ぶ、
- ② コロナ禍で増えつつあると懸念される児童  
虐待の実態を知り、私たちができることは何  
かについて学ぶ機会として開催しました。  
県青少年育成アドバイザー連絡協議会（県ア  
ド連）の仲間14名が参加し熱心に研修を受  
けました。



「URLをクリックしてください。」 「ミーティングIDの入力は済みましたか?」  
「はい、次はパスコード。」 私たちは「これ?」「ここ?」と聞き合いながら確  
認し、教え合い、先生が席を順番に回って来てくださるのを待ちました。

準備だけで1時間が過ぎていましたが、スマホを使っての参加の方も無事、全  
員がZOOMに参加でき、皆さんの顔が私のパソコンに映りました。  
それからは、参加のマナー、ビューの切り替え、拍手や賛成マークを使い楽しく  
操作を学びました。

とても分かりやすくご指導していただき楽しく終わることが出来ました。ア  
ドの会議もZOOMで行えると良いですね。

## 広島青少年育成アドバイザー協議会の活動報告



令和3年度青少年育成県民運動推進大会

日時：令和3年10月30日（日）

場所：広島県民文化センター

3年生から6年生までの音楽が好きな仲間が集まって、朝や放課後に練習しています。練習や演奏を支えて下さる保護者・地域の皆さまに感謝の気持ちを持ち、また聞いて下さる人に音楽の楽しさを届けたいと思います。

『ふれ愛ランドまつり 自然体験Day』に参加

日時：令和3年11月7日(日)

場所：ふれあいランド

「ふくやまふれ愛ランド」を広く開放して、周辺の自然環境を活かした様々な自然体験を行い、自然を好きになってもらいたいとの目的のもと、ふれ愛ランドまつりが開催されました。

広島県青少年育成アドバイザー協議会は、バルーンアートを提供して子どもたちを元気付けるとともにまつりの盛り上げに貢献しました。延べ160家族、約500人の参加者のうち約200名が我々のブースを訪れたこととなります。午前、午後の開会前や帰宅前に訪れた子ども達に喜んでもらうと同時に、子どもたちにバルーン作りを体験してもらいながら価値ある



時間達に喜んでもらうと同時に、子どもたちにバルーン作りを体験してもらいながら価値ある時間を共有しました。長蛇の列となった時間を利用してハンドマイクを使って広島県アド協や全日本アド連の活動についてPRしました。真剣に聞いてくださる方や質問を投げかけて下さる方もありました。配布した広島県アド協のビラは、当日配布された大会要項のクリアファイルに収納されました。決して、ゴミ箱に捨てられることはありませんでした。



福山ミニテニス協会

第41回ふれあい大会

日時：令和3年10月24日(日)

場所：新市スポーツセンター

参加者：内山幸光 杉原 潔 内山重子

内容：ミニテニス大会に参加してバルーンを提供しました。

# アドバイザー会員からのお便り



兵庫県青少年育成アドバイザー協議会  
幹事 後藤みなみ

さる10月31日（日）13時30分より兵庫県民会館7階の青少年交流プラザにて、兵庫県青少年育成アドバイザー協議会開催のメディア学習会及び令和3年度全日本青少年育成アドバイザー連合会近畿ブロック研修会を開催し、13名の参加がありました。

はじめのメディア学習会では、NIT情報技術推進ネットワーク株式会社代表、兵庫県情報セキュリティサポーターの篠原 嘉一（のほら かいち）さんを講師にお招きして、「青少年がまきこまれている現状・実態」について、また「Zoomの主催者（ホスト）になる会を運営する方法」などについて、学習しました。情報社会で、青少年に取り巻く現状と実態がいかに深刻なのかを知ることができました。このような状況下で、青少年健全育成とどのように取り組むべきか、様々に考えさせられる、大変有意義な学習会でした。

引き続き、近畿ブロック研修会では、全日本青少年育成アドバイザー連合会の峠 テル子会長、近畿ブロック会長の和歌山県前 晴夫会長と京都府の田居 友一事務局長にご臨席承りました。兵庫県青少年育成アドバイザー協議会宮後 弘満会長の主催者挨拶の後、峠 テル子会長に「SDG s の取り組みについて」ご講演いただきました。今後の活動などについて、参加者全員が意見を交換し、「誰一人取り残さない青少年育成」を目標に、お互いに情報を共有しながら青少年健全育成に一層力を注いで取り組んでいくための共通理解を深めることができました。

<秋季善行表彰受賞の御礼>

このたび、国際交流などを通じての青少年育成の活動が評価され、兵庫県および全日本青少年育成アドバイザー連合会の推薦を受け、令和3年度秋季善行表彰状を受賞することとなりました。

身に余る光栄です。未熟者の私を受賞できたのは、ひとえに諸先輩のご指導と素晴らしい仲間のご協力の賜物だと、心より感謝申し上げます。

この受賞は、私の今後の活動の励みとなり、一層気を引き締めて精進する所存です。

引き続き、皆様のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。謝謝！

写真は10月31日 メディア学習会



## 秋季善行表彰を受けて

愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会  
名古屋部会 村田靖子



子供に関わる仕事に就きたい気持ちが発端で幼児教育の道へと進み、その延長線上に退職後の青少年育成アドバイザー連合会会員としてのボランティア活動がありました。

主な活動としては、コロナ禍の影響により休止状態が続いていますが、通常であれば学校や図書館、保健所の三歳児健診時での絵本の読み聞かせ、また月曜日の午前に支所講堂で行われる就園前の乳幼児が集う場での見守り活動などがあり、私の日常生活のアクセントでもあります。

成人への関りは保護司ボランティア（三年前退任）、更生保護女性会活動等です。

青少年育成アドバイザー会に於いては、仲間にも恵まれて共に活動、研鑽を積む中で育てて頂き私にとって掛け替えのない財産となっております。この度、思い掛けない秋季善行表彰の話を頂き、身に余る事とは思いつつも「善行は社会を明るくする」ともし火」を合言葉に八十年もの長い歴史を歩まれたこの会の仲間に入れて頂けることは大変光栄に思います。よろしくお願い申し上げます

岩手県青少年育成アドバイザー連絡会  
谷 藤 礼 子

## 全日本アド連会長表彰を受賞して

この度は、身に余る表彰を頂き、誠にありがとうございました。

実は、私の父が、昭和40年代のころ青少年育成会議に出席しました折、実践倫理宏正会の初代会長上廣哲彦先生の名前があったことを話しておりました。その後、朝起会の新聞にアドバイザーの通信教育の案内が掲載され、私は、直に学びたいと思い申込を致しました。東京の代々木の研修会にも参加し、全国各地で青少年の健全育成のためにアドバイザーとして頑張っている方々にお会いすることができました。先日、盛岡の会議にも出させて貰いました。

岩手県内でも未来を担う子供達に地域のさまざまな施設を活用して、人生の大先輩から優しく手ほどきをもらい、いきいきと活動している様子に感動を覚えました。父が残してくれました橋市道場は、一階を剣道と南部諸賞流、薙刀、二階を朝起会の倫理の学びにしております。コロナ禍の前には子どもたちとカブト虫を取ったり、冬には杵を持って餅つきをしたりとても賑やかでした。そんな自粛中、昨日は、思いがけずオランダ人で古武道を指導している先生から盛岡の師範に感謝の記念誌が届きました。剣道八段の父、そして母は薙刀を通し多くの方々と交流しておりました。両親はなくなりましたが現在息子達も剣道を通じてたくさんの方と触れ合いを持っています。

私も剣道を頑張っている子供達の元気な声に励まされ、これからも皆様から多くのことを吸収し、自己研鑽します。勿体ないほどの恩恵に感謝いっぱいです。本当にありがとうございました。



## 親の育ちの重要性を発信するために「親育白書」を作成しました



NPO法人親育ネットワーク代表理事  
愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会  
監事 黒田忠晃

保護者や子どもに関わる大人を対象に、新しい時代の価値観や子育てに関する知識や情報を発信する「親育」を行う個人や団体を繋ぐために、2015年

にNPO法人を設立しました。

社会には、子育てで悩んでいる方が多くいらっしゃいますが、中には、児童虐待のような問題もあります。そこには近年の社会環境の変化に伴い、核家族化や地域での孤立、相談相手や場所がない、親自身の心の課題が解決していない等々の原因があると思われます。

また、子どもにも権利があることを大人が知り、その権利が守られるように大人や地域住民や行政が働きかけることが強く求められています。

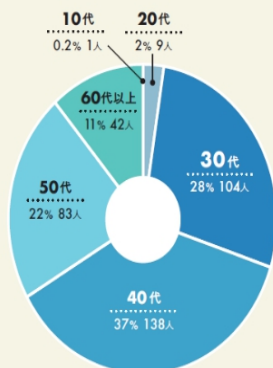
感覚的に「親育」の意義や必要性を感じてくださっている方は多いのですが、数値として見える形になっていないのが現実です。

そこで、2019年内部で「親育研究会」を発足し、上記課題等を話し合いながら、アンケートを作成、2020年に400名ほどの方にご回答頂いたものを元に、2021年にクラウドファンディングを通じて「親育白書」を作成しました。

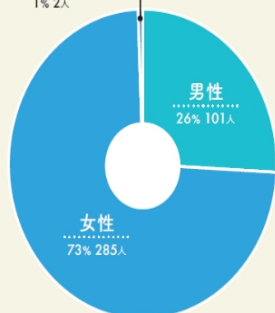
青少年健全育成活動のためのツールとしてお役立て頂けたら幸いです。

# 第1章 今の自分について

Q1. 年代を教えてください。

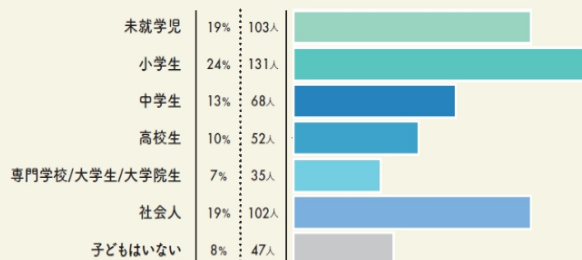


答えたくない  
1% 2人

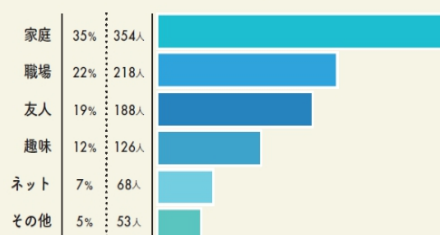


Q2. あなたの性別を教えてください。

Q3. お子さんの年齢を教えてください。(複数回答可)



Q4. あなたの居場所はどこにありますか？(複数回答可)



■社会活動、市民活動団体の繋がり ■美家(父母・祖父母・兄弟)・美家の家族  
 ■コミュニティ・文化交流、地域コミュニティ所属している様々な団体・活動グループ  
 ■NPO、ボランティア ■習い事 ■学童保育所の父母会  
 ■仕事や家庭ではない場(カフェや公園、ちょっとした集まりなど)  
 ■田んぼや畑(自然の中)・自然界 ■どこにもない、わからない

## ■親育白書2021 (1冊500円税込・送料込)

第1章 今の自分について

第2章 過去の自分について

第3章 世の中に望むこと

第4章 親として

第5章 生きる意味について

○令和4年1月21日(金)13:30~15:00

「親育白書解説会」をオンラインで開催します。

詳細は「NPO法人親育ネットワークHPにて」

<http://www.oyaiku-net.org/>



# 特集 大学生と活動を共に実践して



愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会  
会長 峠 テル子

地元の青少年健全育成のイベントに大学3年生と参画して思ったこと。毎年5月に開催されている「春日井市青少年育成わいわいカーニバル」の開催がコロナ禍で、2年も中止になったが、今年の12月5日（日）に春日井市グループふじとう「児童館」で開催された「クリスマスイベント」に、私たちアド仲間4人と中部大学3年生3人で参加させて頂いた。

学生たちと事前打ち合わせは何回も行った。しかし、本番が始まると、幾多のトラブルが発生したがこれを学生たちは力を合わせて解決した。この時、アド仲間にはファシリテーターとしての笑顔が溢れていた。

そして、イベント終了後、率先して机や装飾品の後片付けをしている学生たちの姿に、アド仲間と語りながら将来への希望を抱いた一日だった。

## 紙芝居体験を終えて

経営総合学科 3年 増田宗真

私は非常に恥ずかしがり屋である。

昔から人前に立ったり発表したりすると顔が赤くなってしまったり、せっかく準備して覚えた台本が頭からすっぽり抜けてしまうといった苦い体験を過去にしていた。

今回ご縁があり、紙芝居を行う機会を与えられたのだが正直気が進まなかった。そのため初めて紙芝居をして読み聞かせた際は非常に棒読みであり、本当にこれでいいのかと自問自答をした。さてこれはどうにかしなきゃならないと自分に鼓舞し、自宅で練習してみたり動画を撮って研究したりしているうちにとても楽しくなり、さらには読み方が成長していることに気づいたのである。これが非常にモチベーションとなったのである。自分自身で一番といえる動画を作成し、本番に臨むと多くの子供達に見てもらえることが出来た。

本当にうれしかったし達成感を感じることが出来た。もちろんまだまだ未熟者だが何事でも成長していることに気づくとやる気が出てパフォーマンスの向上も見込めるのだと改めて感じた。今回の体験から人間的にも成長することができ、参加して本当に良かったと思う



中部大学三年 渡邊愛水

私にとって今回の紙芝居のボランティア活動は、大学に入学して初めてのボランティア活動でした。急に参加することになりわからないことも多く、ほかの二人には、迷惑をかけたかもしれません。しかし、この活動はとても有意義なものであったと思います。

午前の部は様々なトラブルが起こりまともに紙芝居を流すことができませんでしたが、トラブル解決のために様々な手を尽くし午後の部に間に合わせることができました。午後の部では、無事紙芝居を流すことができ、交代で紙芝居を流す係を担当するなど、役割分担をすることで無事に午後の部を終えることができました。

最後の片付けでは、自分から仕事を探したり、作業している人を手伝ったりなど、自分から積極的に話しかけ、動くことができました。ボランティア活動を経て少しだけ人間として成長できた気がします。とても楽しかったです



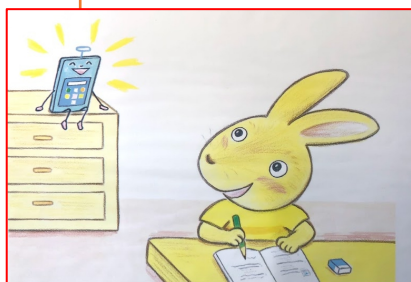
### 紙芝居の感想 12/5

BS19303 山本海里

12/5 にグルッポふじとうで行われた紙芝居に参加した。一番印象に残ったことは機材トラブルで午前の部がまるまる使えなかったことである。前日の 12/4 に前日準備でしっかり機材の接続確認をし、プロジェクターに投影出来たのに肝心の当日に出来なかったのは驚いた。学校で調整できても現地で実際に準備する必要があると学べた。

峠さんとの事前準備のあとグルッポさんを訪問し、足りない or 必要な機材があるかの確認をして準備をしっかりとしていただけにトラブルで半分出来なかったのは悔いが残った。紙芝居に関しては、初めての体験だったためなかなか難しい挑戦だったが、アドバイスをもらいながらやるうちに楽しく出来た。ただ、子どもや保護者の心に響くような出来になったかと言われれば出来ていないと感じるのであまり納得できるような出来にはならなかった。

初めての紙芝居や当日のトラブルなど様々な体験はとても貴重で今回のことは将来に活かさなければいけないと感じた。



愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会  
名古屋部会 村田 靖子

### 学生達との活動に際して

青少年育成に携わるアドバイザー会員として、イベント活動の仲間に加えて頂いた。これまでも続けてきた、私達の青少年育成活動の根底にある情報モラル、特に「スマホの正しい使い方」を動画や絵本を通して親子に伝える活動に当たった。

地元の大学生数名も私達アドバイザー会員と一緒に携わり、特にアニメ動画編集など真摯に向かう姿に頼もしくも感じ、青少年育成に関わるボランティアとして次世代を育成する意味においても、私達の目指している姿と捉えた。

また開始直前、動画にトラブルが発生した際もどうにか正常に戻そうとアド会員仲間と共に突然のアクシデントに立ち向かう学生達の姿勢、体験は今後にも糧となって学生達自身に蓄積されていく事を願いたいと思う。

## 令和3年度 秋季善行賞表彰受賞者のご紹介

受賞おめでとうございます

受賞者一覧 敬称略

氏名	都道府県
横澤 繁	岩手県
村田 靖子	愛知県
後藤 みなみ	兵庫県
香川 勝	香川県



### 目標5.ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワメントを行う

5.1	あらゆる場所におけるすべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
5.2	人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性及び女児に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。
5.3	未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。
5.4	公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
5.5	政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
5.6	国際人口・開発会議（ICPD）の行動計画及び北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。
5.a	女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。
5.b	女性のエンパワメント促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
5.c	ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性及び女子のあらゆるレベルでのエンパワメントのための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。

#### 【編集後記】

誰ひとり取り残さない開発目標（SDGs）の17の開発目標と169項目については、地域での取組みが異なることからSDGsを研鑽され得ることから目標設定されて実践されることを期待いたします。

また、全国のアドバイザーからの便りとして掲載いたしますので、会員の皆様が、日常活動されていることや思いをお待ちしています。また、都道府県アド会で広報紙を発行されましたら事務局にも一部頂けるようにご配慮をお願い申し上げます。

宮後弘満拝